

悪質業者がねらっている

くらしのアドバイザーに相談

奥さん…
ちょっと お耳を!

悪質商法とは、簡単にいえば、人の弱みにつけこんだり、夢や希望をくいにのしたりして、言葉巧みに高額な商品やサービスを売りつけるものです。その手口は、街頭で声をかけてきたり、家に訪問してきたり、ダイレクトメールや電話をかけてきたり…など、実にさまざまです。誘いかけてくる言葉も「金がもうかる」とか「頭が良くなる」「美しくなる」「健康になる」など、興味を引くことばかりです。「本当ですか?」と言おうものなら、契約をとるまで必死に食らいついてきます。何度も自宅や職場に来て催促をし、なかには脅迫をする業者もいます。

悪質業者の勧誘に引っかかり、トラブルに巻き込まれないために、次の六つの撃退ポイント覚えてください。

- ①簡単にドアを開けず、まず聞く名前と目的
- ②あやしいぞ、他人のふところ聞く業者



お二人とも、消費者団体の指導的な立場にあり、消費者トラブルについての的確なアドバイスのできる方々です。皆さん、気軽にご相談ください。

- ③もうけたいと思う あなたの心に落とし穴
 - ④勇気を持ち、はっきり言おう「いいません」
 - ⑤よく考え、うまく使おう クーリング・オフ
 - ⑥契約書 サインの前に まずだれかに相談しよう
- 困ったり、迷ったときは、一人で悩まずに、警察や消費生活センターの相談コーナー等に相談してください。
- また、地域の消費者の皆さんと消費生活センターを結ぶパイプ役「くらしのアドバイザー」の制度もあります。
- 蒲郡市の担当は:
- 志賀笑子 (☎69-1579) さん
 - 渡辺君江 (☎57-4873) さん

頭が重い!

外傷による頭痛や脳出血などの血管障害による頭痛と違って、自分自身にも思いついたことがありそうな頭痛のうちの一とつです。これは、たいてい体が緊張した状態の時に起こる頭痛です。たとえば肩こりがある人では、首の後ろから後頭部が張った感じや圧迫された感じが続きます。頭に何かをかぶせられた感じがして、ひどくなると一日中頭痛があり、吐き気も出てくることもしばしばです。いろいろ原因が考えられています。一つの原因だけではなさそうです。体の内的、外的なさまざまなストレスが個人の容量を超えた時に、頭痛が発症すると言われています。

こんな時には、軽い運動で体をほぐしてあげたり「パーツ」とストレッチを効果させると良いと思います。それでもなかなか我慢できずに治りにくい時や脳出血や脳腫瘍ではないか、と思い悩んでいるよりは、近くの病院で相談されたいかなものではないでしょうか?

健康一番



今月のドクター
蒲郡市民病院 脳神経外科
鈴木 解 医師